

大山道展の開催と記念講演

7月19日(日)から11月23日(月)の予定で雨岳文庫資料館に於いて大山道に関する資料の展示が「大山道展」(大山道合流の地・上粕屋)として開始されました。(8月末現在の来館者は約250名)

展示日初日の7月19日には長塚市長のご挨拶の後、川島敏郎先生(県立公文書館専門委員)による「大山道と大山信仰」について、記念講演が行われました。

講演には約100名の参加者で会場は満員で市民の方々の関心の高さがうかがえます。



長塚市長のご挨拶



大山道展の見学者



ジオラマで大山道を確認する子供



興味深く聴講の参加者



川島先生の講演

子供のための紙漉き体験

8月23日(日)、子どもたちを中心に約30名の参加のもとで、講師に柄戸忠二氏をお招きし、紙漉きの体験会が行われました。紙の材料、楮(こうぞ)から紙漉きし、山口家屋敷内にある臭木(くさぎ)、山ごぼうで染めた繊維も紙に漉いてみました。日頃は何気なく使っている紙に親しみを持ち、紙を作る大変さを体験し、紙の大切さと自分で作る喜びを皆さんは実感したようです。なれてくると、年上の子が年下の子に教えたりして和やかな雰囲気でした。



臭木の実

枝豆の収穫(農業体験)

7月12日(日)、春播いた枝豆も順調に成長し食べごろになり、約20名の参加で収穫をしました。

収穫した枝豆は早速、ゆでた枝豆、枝豆のポタージュ、枝豆餡のずんだ餅となり、お昼にみなさんでいただきました。



五霊神社

近隣の歴史探訪

山口家から徒歩2分、バス停 〆引の西側にある神社は太田道灌合祀の神社と言われています。

太田道灌の主君・上杉定正の急死後(七沢光沢寺 徳雲寺、徳雲寺の記録によれば明応2年10月5日)、明応3年(1494)9月13日伊勢新九郎長氏(北条早雲)は大田道灌の非業の死を悼み家臣山田伊賀守源光長に命じて道灌の骨を納めさせ大田三徳命として五霊神社に合祀しました。道灌と長氏はともに永享4年(1432)の生まれで文明8年(1476)に起こった駿河守護今川家の内紛の際にはお互い協力して鎮定した旧知の間柄でもありました。社殿には「大同元年(806)三ノ宮村五霊原に鎮座」とあり、もとは三ノ宮御領原にあったようです。三穂津姫命(みほつひめ)等の五柱で相模国府の怨霊のたたりを鎮め国の安泰を祈った国府の社、御霊神社だったと言われています。



トピックス

*雨岳文庫歴史資料のデジタル化

文部科学省の科学研究費による雨岳文庫資料のデジタル化(共催:神奈川工科大学)がスタートし、今年度中に一部ホームページに公開の予定です。

* 掲示板が完成

雨岳文庫クラブの人たちの手作りで檜づくりの掲示板が完成しました。行事の写真等を来館者に見て頂けるようになりました。



* 夏祭りこども神輿が休憩に立ち寄り

8月2日(日)、子供たちの神輿が今年も山口家に途中の休憩場所として立ち寄りしました。

丁度、開催中の大山道展を見学し、地域の歴史を再発見したようです。今回の見学を機会に今後、歴史の伝承が期待されます



今後の行事予定等

- * 家族一緒に 芋掘り、栗拾いと竹や木で遊ぼう
 - ・10月18日(日) 9時30分~12時
 - 【伊勢原市教育委員会後援】
- * 家族一緒に 土塀づくり(瓦さんの土塀づくり)
 - ・11月1日(日) 9時30分~12時
 - 【伊勢原市教育委員会後援】

* 大山道展記念ウォーク

- ・10月18日(日)10時~15時
- 伊勢原の青山道(宿愛甲~上粕屋石倉橋)

※ 大山道展の受付をお願いできる方、募集中
ご協力いただける方は下記にご連絡下さい。
TEL 0463-95-0002(山口)